1968
12月号
No.181
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

12月の人口と世帯

人口 7.148(0)
男 3.574(0)
女 3.574(0)
世帯数1.240(0)

多彩な文化祭行事
ぶじ終る
人気は婦人バレーボール大会

第二一回文化祭は、会期の三日間を通じて雲一つない日本晴の好天気に恵まれ、多彩な催しも予期以上の成果をおさめて終りました。

その中でも人気を呼んだのは、背番号に年令を書いた壮年者ソフトボール大会。初めての試みで一二チームも参加した働く婦人のバレーボール大会で、会場の鮫小校庭は、終日大勢の参観人と喚声で大にぎわいでした。

お嫁さんに感謝する会では特に模範的な家庭生活を築かれた立派なお嫁さん七名が表彰され、また健康な赤ちゃんを育てられた若いお母さん一五名に表彰状記念品が贈られました。

お母さんをたたえる会でも優良家庭を築いたお母さん七名が表彰され、多数の参会者から称賛されました。

◇壮年ソフトボール大会
優勝 中野Aチーム
準優勝 中野Bチーム

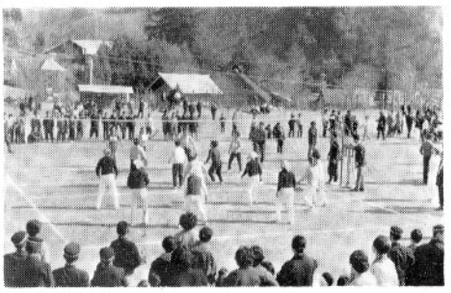
◇婦人バレーボール大会
優勝 西野チーム
準優勝 西山チーム

◇優良家庭婦人表彰
お嫁さんの部
西野 北条キミ子
西山 大竹日出子
中野 緑川 キワ
東野 中川西チヨ子
富田 赤坂 ミサ
渡瀬 遠藤美智子
青生野 石塚カネ子

お母さんの部
西野 須藤 昭子
西山 阿久津ハル
中野 鈴木 ツル
東野 前田ハツノ
富田 青戸 テル
渡瀬 蛭田マサミ
青生野 石井フユ

今年の慰安芸能は会津民謡会のメンバーでしたが、大変な熱演で参観者をよろこばせました。


明治百年記念式典で先賢篤志者の顕彰をうける遠族鈴木真治さん（田村郡春山小学校長）




お嫁さんに感謝する会で、模範的な家庭生活を表彰された7人のおよめさん。

明治百年の先賢篤志家を顕彰

鮫川村の明治百年記念式典は一一月二三日鮫川中学校体育館で盛大に行われました。

この式典の参会者は、現職の村の公務にたずさわる人たち全員と、各種団体の代表者元公職にあった人たちの代表者、八五才以上の高令者村内小中高校児童生徒の代表者で計三〇〇名。

明治百年の意義を強調する石田村長、芳賀議長のあいさつに次いで、この日顕彰される先賢篤志家八名の選考経過について委員長須藤助役から報告し、村長から遠族に対してそれぞれ顕彰状と記念品が贈られました。

◇政治部門
須藤千代之助（名下）
鮫川村長六期二二年勤続。難治の村を有数の模範村たらしめた功労者。
赤坂儀作（木之根）
自由民権の思想を普及し、西欧文明の輸入に努めた。初めての県会議員

◇産業部門
芳賀金之助（福原）
鮫川村長二期、渡瀬信用組合を創立した産業組合運動の先駆者。
関根喜市郎（戸倉）
代表的な篤農家。農事組合の創設者近代農業技術改良の功労者。

◇教育部門
鈴木春治（新宿）
県下教育界の最高峯福島一小校長。県校長協議会長。
武川重信（名下）
西野小学校創設初代校長。地域の淳風美俗を作った恩人。

◇社会文化部門
大池太弥（棚倉）
郵政事業に生涯を捧げた赤坂郵便局長。電信電話導入。文化人としても貢献。
水野文次郎（宝木）
東北帝大医学部卒軍医。外地病院長歴任。陸軍中将。

なお、五〇年以上納税を継続完納した納税組合三組合が表彰されました。

西納税組合（西野）
新宿二納税組合（中野）
江竜田元納税組合（渡瀬）

また、八五才以上の高令者には賀状と記念の銀盃が贈られ、知事代理（県事務所長、町村長代表鈴木泰芳塙町長の祝辞があり、万才を三唱して式を閉じました。


健康な赤ちゃんを育てて表彰された若いお母さん

才末たすけあい募金にご協力下さい



年の瀬を迎え病気や貧困等のため暗い生活にあえぐ人々は少なくありません。

村では村内に住むこうした人たちが明るいお正月を迎えられるよう、村民の温い思いやりのこもつたお見舞を贈ろうと、今年も才末たすけあい募金を実施することになりました。どうか温かい心でご協力をお願いします。

募金の方法は組長さんが取まとめることになつていますのでよろしくお願いします。

村税完納に御協力下さい

村税完納運動12月5日～12月25日

村の財政は村税の納期内完納によつて充実し、明るい村づくりが円滑に行なわれます。

村では十二月納期である村県民税第三期分と保険税第五期分の納期内完納を推進するとともに、未納になつている村税を完納していただき、各種事業の促進を図るため、十二月五日から十二月二十五日までの期間村税完納運動を展開しております。

納税の最終納期は十二月二十五日ですから是非納期内完納を実行されるとともに、未納のある方はこの際是非完納され「継続十二ヶ年全村完納」の成績をうちたて、明るくたのしい年末年始を迎えられるようお願いいたします。

現在未納になつている村税は十二月二十五日を過ぎると延滞金を加算して納めていただくことになるばかりでなく未納の組員がある組合には納税奨励金が交付されませんので、是非完納されるようお願い致します。

今年は農作物の収穫が思わしくない地域もあり、ご都合もあるとは思いますが、これまでの成績を継続して一層村政の進展に御協力下さい。

本月の納税は保険税 村県民税 第3・5期分です

納期限……12月25日

おくれずわすれず期限内に完納しましょう

なお各種村税の未納になつている方は、なるべく早く都合して完納下さるよう御協力願います。

行改区別納税成績表　（11月末日現在）

税目 / 大字別	固定資産税	村県民税	自動車軽税	保険税	計（平均）
西野	94.5%	97.1%	96.2%	93.3%	(96.5) 94.4%
西山	88.1	95.2	93.6	88.7	(88.1) 89.4
中野	93.2	91.3	99.7	96.1	(95.0) 94.7
東石	75.4	73.4	83.6	69.9	(72.5) 72.8
富田	75.8	68.9	87.3	75.5	(71.2) 75.4
渡瀬	96.7	98.7	98.3	94.3	(95.7) 95.7
青生野	37.5	73.4	69.7	68.1	(74.3) 70.0
計（平均）	(87.9) 87.0	(89.1) 85.8	(87.7) 90.8	(84.5) 84.4	(86.5) 85.8

（　）内数字は前年同期の率です。

村政のあゆみ (20)

山系開発運動の新段階

村長　石田卯子八

阿武隈山系低開発地域を開発せよという声を初めて組織化したのは、昭和四〇年九月九日で、東白川全郡の町村長議会議員の参集を得て、青生野小中学校集会室で設立した阿武隈山系開発期成同盟会の設立総会がその第一歩であります。

それを県下の山系全域三四市町村に拡大して、阿武隈山系開発促進協議会を結成したのが昭和四〇年一一月一六日です。

このときは関係町村長が県の自治会館で創立総会を開き会長に湊徹郎衆議院議員を選びました。

促進協議会は、阿武隈山系地域の実態を広く政財界にPRするとともに、県に「開発室」の設置や総合開発の調査を国、県に要請してきました。

幸に、県も県政の最重点施策として採りあげるようになり農政部内に「地域農業振興班」をおき、協議会と共同で東大教授川野重任氏を団長とする学者グループに山系開発のコンサルタントを委託しました。

また、関係町村でも概ね郡単位程度のブロック協議会を作り、自主的な調査と企画を進めてきました。

既に学者グループの予察報告、中間報告も出て、最終報告がまとまる時期も近づき市町村側の資料も揃つてきました。

ここで出揃つた資料を、あらゆる角度から検討して基本計画に練りあげ、行政のベースにのせるべき段階に到達したのであります。

阿武隈山系は、県土の三分の一にも近い広大な未開発地域であります。従つてこれを開発する計画も国家的視野で樹立されるべきであり、財政投資も国家的規模であるべきことは申すまでもありません。

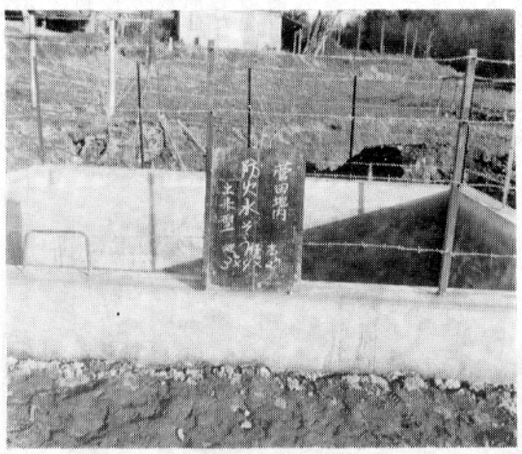
それでこの運動を全県民運動に盛り上げて行く必要が生じたわけで、去る一一月一九日福島県労働福祉会館ホールにおける福島県阿武隈山系開発期成同盟会の設立となりました。

この会は、県はもとより、県議会も超党派で参加し、促進協議会も重要構成員となり市長会、町村会、議長会、農業団体、報導機関等、名実共に全県総ぐるみの体制をつくり、木村知事を会長に選出しました。

実際の運動は実行委員が推進することになりますが、委員長に県議会議長の早川俊通氏、私も副委員長の一人に選ばれました。

当面の目標を「広域未開発地域総合開発調査」の指定をうけること、新全国総合開発計画の「大規模開発プロジェクト」に織りこむことにおき去る一一月二九日東京ヒルトンホテルで、実行委員と国会議員の懇談会を開き、大蔵省農林省経済企画庁に陳情を行いました。

また、これらの指定を獲得するためには、八溝山系地域を含め、茨城、栃木両県と共同戦線を張る必要もあるので三県の協議もそれぞれ進められておりますから山系開発の運動はまさに新しい段階に入つたわけであります。



湯川大膳塚の否定と埋蔵文化財の保護

鮫川史(三)

国島義広

地方文献及び家文書や伝説等によれば、塙館を攻め落し凱旋の途に、富田湯川の地にて、百姓に紛する赤坂の臣、緑川三郎兵衛の矢に当り仆ると伝うる。

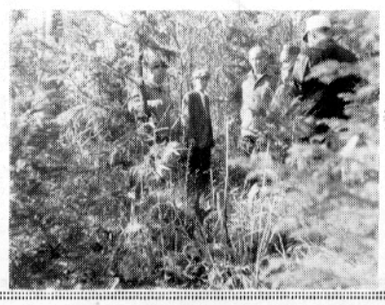
然し之は全く其の根拠の無い事であつて、大塚大膳は水戸実高百二十万石とも云う佐竹義宣の実弟にして、天文より慶長五年十月まで、水戸大塚郷と塙羽黒館を領する。赤坂下総守常貞は、水戸佐竹義宣の家臣にして、塙館主大塚大膳とは君臣の間柄で相争う訳はない。

然るに大膳戦死し湯川の峯山中に埋むと今に伝うる。大塚大膳は慶長五年十月二十日しかも健在にて、馬一匹鎗一筋の士として、また赤坂常貞も武士として同時に秋田に供し、代々事無く佐竹の臣として幕政二百七十三年、明治維新廃藩となり、何れも其の子孫は現存し秋田に土着す。

伝説史の矛盾は此の大膳塚を以て如実に物語つている。（佐竹文書より）

湯川にある大膳の塚と伝うるは、今より約千四百年以前の日本の曙とも云う先史民族（古墳時代）の古墳にして、山頂より麓まで点在して三基あり、二基は既に村教育委員会文化財調査委員の手で去る十一月七日踏査を行つたが、峯の一基は未調であるが、筆者だけが見ている。何れもいつの時代かに何者かによつて盗掘されているが、疑もない古墳であり、人未だ知れざるを遺憾とす。

巷説に伝う内ヶ竜の姥捨塚蕨草の矢場塚（四基の内二基は破壊されて一基だけが残つている。）塚本の化け地蔵塚等名のある塚は皆乱掘されてあり、西山と中野の無名の古墳は、今尚其の形を保つて居るが、早く調査して明らかにし埋蔵文化財の散逸を防がねばならない。



附記

今も古墳や遺跡を乱掘する者があるが、素人の発掘等によつては何も見当るものではなく専門家でさえ中々むづかしいもので、掘つても何も出土しないと云うのは普通であり、又有るとせば人骨位のものであるが素人の盗掘では何も出なかつたと云う事になる。

議会だより

二営林署管轄の統合
意見書を決議

第十一回臨時会は十一月十二日に招集され、次の四件の議案が審議されたが、いずれも原案どおり可決されました。

◉議案第四十二号　村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

村長助役収入役に支給できることになつていた扶養手当を支給しないことに改めた条例です。

◉議案第四十三号　部分林設定のため国有林野借受申請について

明治百年記念部分林設定のため青生野、石井草地内にそれぞれ五haを、またその他青生野地内に四・九haの国有林野を借受ける申請をするものです。

◉議案第四十四号　国有林野買受申請について

現在借受している青生野小学校校舎、運動場、教員住宅、その他教育施設用地二三九九・九九㎡を買受申請をするためです。

◉議案第四十五号　昭和四十三年度鮫川村一般会計補正予算（第六号）

村税六十一万四千円、教育費県補助金一万円、渡瀬小中火災見舞金六万一千円の増と国補助金二万三千円の減、計六十六万二千円の財源で、明治百年記念式典費に四十万円中沢、茅地内の県単治山工事負担金に十三万円、遠距離通学生徒（渡瀬）通学費補助金二十万六千円等が補正増となり、各項目の増減があつて職員手当が補止されました。

◉提出議案が原案可決されました。

後に休議に入り、本村の国有林は石川、棚倉両営林署に分割所管されているので不便が多いため、棚倉営林署一署に統合するよう要望する協議をしたが、意見の一致をみたので議事を再開し、議員提案の議案第三号として「意見書」を議決し前橋営林局長に送付することになりました。

議会議員の那須牧場視察

農産物の主力となつていた米がダブつくようになつた現在本村のような山村にあつては畜産の占める比重が強くなり阿武隈山系開発の推進とあいまつて、大牧場の造成が考えられています。

村議会でも畜産振興の問題がたびたびとり上げられ去る十一月二十八日には、先進地である那須町を議員十六名、村長、事務局長で視察してきました。



行一員議員する視察を内牧場

酪農で生きる農家

当日は好天に恵まれ暖かい日でしたが、広大な那須山麓（一万八千余頭の乳牛が飼育されている。）に入ると、さすがに寒くときどきミゾレも降つてきました。

戦後の入植とみられる小さな農家が点々と散在しているまわりは、ほとんどが乳牛の飼育畠で牧柵のなかには各戸とも、十四、五頭の乳牛がのどかに陽をあびているなかをマイクロバスにゆられて、十分も行くと那須町共同利用模範牧場（三八七ha）に着きました。

施設と人づくり並行に進めよう

県庁より出向して場長をしている方の説明を一時間ほど聞いて、牧場内を見学しましたが二億円ちかくの経費をかけ、関東農政局の調査にもとづき農地開発機械公団によつて開発されただけであつて、施設、設備ともに模範の名に恥じないものでした。

この牧場は近在の農家の乳牛を預り夏期は放牧（五〇〇頭）し、冬期は育成（五五頭）している他に全国各地の畜産試験場より、優秀な基礎牛を導入して品種改良に努めているとのことでした。

この視察を通じて考えさせられたことは村長の「運営上で困つたことは何か」との質問に場長から「施設づくりに人づくりがともなわなかつたことで優秀な施設、設備を作りあげても運営するのに人がいないので、止むを得ず私が県より出向を命ぜられたが不馴れな係員とともに苦労した」とのことで、現代の傾向として見せるための施設づくりをしていると思われる、行政の在り方を考えさせられる言葉でした。

（議会事務局）

民生（児童）委員の改選

任期満了で十二月一日付民生（児童）委員が改選されました。

住所	氏名
西野字　茅	・白坂　勝弥
〃　字上ノ町・吉田	稔
西山字折戸	阿久津　稔
〃　字発地岡	高野　友弥
〃　字馬場	鈴木　義男
中野字宿ノ入	大河内淳一
西野字大塩	水野　つな
東野字蕨ノ草	渡辺　正佳
〃　字遠ヶ竜	佐藤千代治
〃　字広畑	・藤田富久代
富田字二反田	松本　亨
〃　字彦次郎・青戸	テル
渡瀬字大戸中・小松	七郎
〃　字関口・藤田	伝
〃　字青生野	森田　一雄
〃	・鈴木　清司

（・印は再任）

なお十二月二日第一回民生委員会が開かれ総務に白坂勝弥氏が再選、副総務に松本亨氏が選ばれました。

年金だより

改善される国民年金

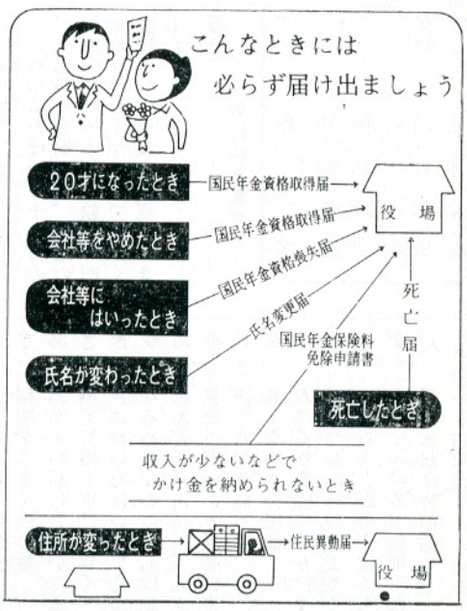
国民年金の制度が、昭和三十六年にできてから、昭和四一年に「夫婦一万円年金」に改善され、障害年金、母子年金など現在福島県内で三、八〇〇余の方々が最低でも月額五、〇〇〇円の年金が支給されて大変生活に役立つています。又昭和四六年（二年後）には、はじめての老令年金（任意高令者加入者）の支給が開始されます。この支給開始にさきだち昭和四四年（来年）には年金額を厚生年金なみの水準にすることや、受給要件を有利なものにすることなど、またまた画期的な改善が予定されています。

年金があなたを守る新時代

◉保険料完納運動実施中

たゞいま村では国民年金保険料の完納運動を行つています。老後のしあわせを守る国民年金はあなた自身のためのものです。若し保険料未納の方は農作物販売代金が入つたこの機会に全納して下さるようお願い致します。

村では来年の一月末日までに年金保険料全員完納を目標として、二月に奨励金等を差上げるよう計画しております。



駅伝競争の健斗

文化祭ムード最高潮に達した十一月二十三日午前十時〇分きつかり、石田委員長さんの号砲一発、はやりに逸る大字代表七名の選手が、一斉に役場前のスタートをきつた。

本年の大字対抗駅伝競争は全チーム出場（一チーム編成中学生三名、高校生四名、青年一般六名）全員身体検査の後に行われました。

途中宝木中継所では、まだ時間があるとトレーニングに出た後に、東石チーム選手が早くも第一着で到着したのに中継のタイミングが合わなかつた一幕もあり、十三中継所を各選手は抜きつ抜かれつ熱戦が展開された。

役場前は黒山になつた数百人の応援団の見守る中に、早くも西山チーム最後の走者、石井久夫選手が顔を見せ、出発以来総延長一九、二〇〇米を六十五分四秒の好記録でゴールの白いテープを猛スピードで切つて落した。

記　録（タイム）分　秒

一位　西山チーム六五、〇四

二位　西野　六七、〇二

三位　中野　六八、二九

四位　渡瀬　略

五位東石六位青生野七位富田

明るく正しい選挙コーナー

× × ×

政治とは何か。簡単ないかたをすればまず着る、食べる、住まう。（衣、食住）の問題を経済生活といいますが、この経済生活を楽しくおくるために人々が社会という協同体からバラバラに離れて行かないようにする方法が即ち政治であるといわれております。

従つて良い政治、正しい政治とは、人々が心から力を合せて行くことが出来るような政治ということになります。

政治といえば、私たちはすぐ選挙を思い出しますが、全くその通りです。良い政治、正しい政治が行なわる為に選挙がおこなわれて、私たちがこの党ならば、この人ならばという信頼のもとに大切な権利の一票を行使する訳です。

ところが政治が生活につながつているといわれながらも私達の中には正々堂々と投票できない人もいるのではないでしようか。

人間は貴賤貧富を問わず、まつたく同じ価値を持つている一人の人間であつて、同等の価値を持つ投票権を行使することを原則としているにもかかわらず、変に気兼ねしたり、頼まれたから入れましたという例が、まだ見受けられるようです。

私たちが幸福になるためには、正しい選挙による、正しい政治が行なわれることが必要です。

新しい社会人九十七名

昭和四十四年の成人式は、一月十五日「成人の日」に鮫川村公民館で挙行します。新しい成人のよろこびと、祝福を受ける若人は九十七名で氏名は次のとおりです。

〔西　野〕　十一名
須藤好、矢吹肇、北条水城、高坂達雄、佐藤恵一、舟木勝義、藤元ハツイ、藤田文雄、白坂光雄、藤田康夫、星吉秋

〔西　山〕　十八名
生田目友信、生田目芳幸、我妻玲子、我妻サダ子、我妻セツ子、関根テル、関根アキ、関根トシ子、芳賀栄良、根本栄美子、須藤好幸、水野洋子本郷ヒロノ、関根もと子、関根元実、大楽マサ子、高野博光、関根謙次

〔中　野〕　十三名
高木四郎、杉山安子、菅野寿江、湯座きみ子、安藤文夫、金沢英子、大池小夜子、大池敏子、宗田文子、渡辺文子、岡部ミツ、金沢吉衛、鈴木順子

〔東　石〕　十九名
芳賀一、吉田和男、円井義生、斉藤一、斉藤さつき、斉藤なみ、田子照美、芳賀芳雄、岡部とき子、三瓶みね子、生田目勝弘、関根貴代子、矢内安光、生田目信美、中川西春枝、前田雅秀、田子ふみ子、前田隆、円井利子

〔富　田〕　十一名
円谷朝子、坂本みつい、鷲野谷政志、赤坂一郎、大平芳美、松本孝子、松本みち、須藤恵子、神原健一、坂本次兄、吉保幸子

〔渡　瀬〕　十六名
山形仁、中野西ヨシ子、近藤敏子、芳賀富子、山形利雄、蛭田茂芳、鈴木ヨウ子、蛭田ヨシエ、芳賀文行、生田目利夫、小松正子、藤田伝、蛭田スイ子、鈴木久子、蛭田実、藤田美砂子

〔青生野〕　九名
矢吹一広、岡部照夫、藤田マツヨ、堀川イサ子、白石キミ子、平久江三治、生田目忠孝岡部利雄、笹島民男

× × ×

この名簿におちている方、または村外転出の方で、村主催の成人式に参加される方は十二月二十日までに公民館事務局に申し出て下さい。

※※※